

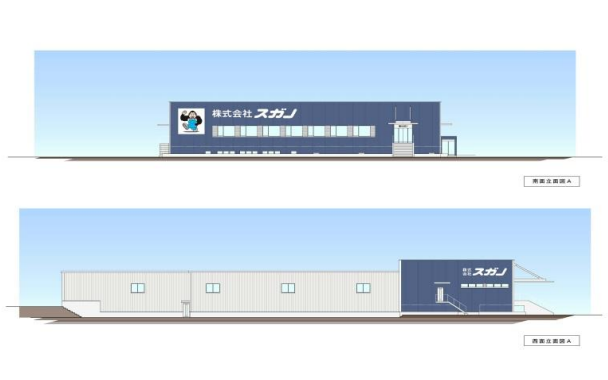
# CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株スガノ本社ビル	階数	地上2F
建設地	広島県広島市南区大州1丁目162番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	80人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2046年4月 予定	評価の実施日	2015年11月30日
敷地面積	5,447 m <sup>2</sup>	作成者	長谷裕子
建築面積	2,168 m <sup>2</sup>	確認日	2015年11月30日
延床面積	2,859 m <sup>2</sup>	確認者	加納克則



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.8</b> ★★☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p><b>標準計算</b></p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> <span style="float: right;">Qのスコア = 2.5</span></p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> <span style="float: right;">Q1のスコア = 2.9</span></p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> <span style="float: right;">Q2のスコア = 2.7</span></p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> <span style="float: right;">Q3のスコア = 2.1</span></p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> <span style="float: right;">LRのスコア = 3.2</span></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> <span style="float: right;">LR1のスコア = 3.6</span></p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> <span style="float: right;">LR2のスコア = 2.8</span></p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> <span style="float: right;">LR3のスコア = 3.1</span></p>

3 広島市の重点項目		
<b>重点項目の総平均スコア = 2.9</b>		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p style="text-align: right;">スコア = 3.4</p> <p><b>設計の計画上特段に配慮した事項</b></p> <p>外皮に断熱材を使用 / 特に無し / LED照明を採用 / LED照明を採用 / 雨水を荷捌場2下部の雨水貯水槽に貯水し各便所の排水に使用 / 設備の高効率化を図っている</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p style="text-align: right;">スコア = 1.3</p> <p><b>設計の計画上特段に配慮した事項</b></p> <p>植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行っている。 / 駐車場、駐輪場を設置</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p style="text-align: right;">スコア = 2.9</p> <p><b>設計の計画上特段に配慮した事項</b></p> <p>特に無し / 特に無し</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される